

いわた 文化財だより 第202号

目次

- 特別史跡 遠江国分寺跡整備事業 . . . P1~2
- 所蔵資料・刊行物をWEBでご覧いただけます P3
- 旧見付学校で消防訓練をおこないます . . . P4
- 『地震・雷・火事・親爺・コロナ!?』
石津由行 . P4

磐田市教育委員会教育部文化財課 令和4年1月4日発行

1,300年の時を超え . . .

特別史跡 ^{とのおとうみ こくぶんじあと} 遠江国分寺跡再整備事業

天平13年(741)、農作物の不作や疫病の蔓延を憂いた聖武天皇は、仏法の力で国を護ろうと全国60余か所に国分寺を建てるように命じました。遠江国分寺もそのひとつで、七重塔や仏像を安置する金堂などが建ち並びました。

磐田市役所の北側に位置する特別史跡・遠江国分寺跡では、本年度より再整備に向けての工事が始まりました。磐田市に残る豊かな歴史を体感でき、未来にそれらが伝えられるように、遠江国分寺跡は新たに生まれ変わります。



遠江国分寺跡 空中写真(令和3年11月南上空から撮影)

令和3年度は、国分寺公園北側の造成及び一部園路の舗装、芝張りを進めています。また、これまで地下の遺跡を傷めていた樹木を整理することで、特別史跡(国宝相当)である遠江国分寺跡を**保護**しつつ、寺域の広大さを体感できるようになりました。

見慣れた光景の変化に若干の寂しさを感じながらも、特別史跡・遠江国分寺跡の歴史的価値・魅力が**次世代**に伝わるよう整備を進めていきます。

ここがスゴイ！

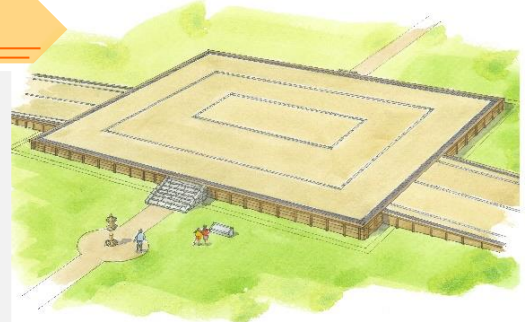
新・遠江国分寺跡の見所

その1 整然と並ぶ寺院建造物群の痕跡

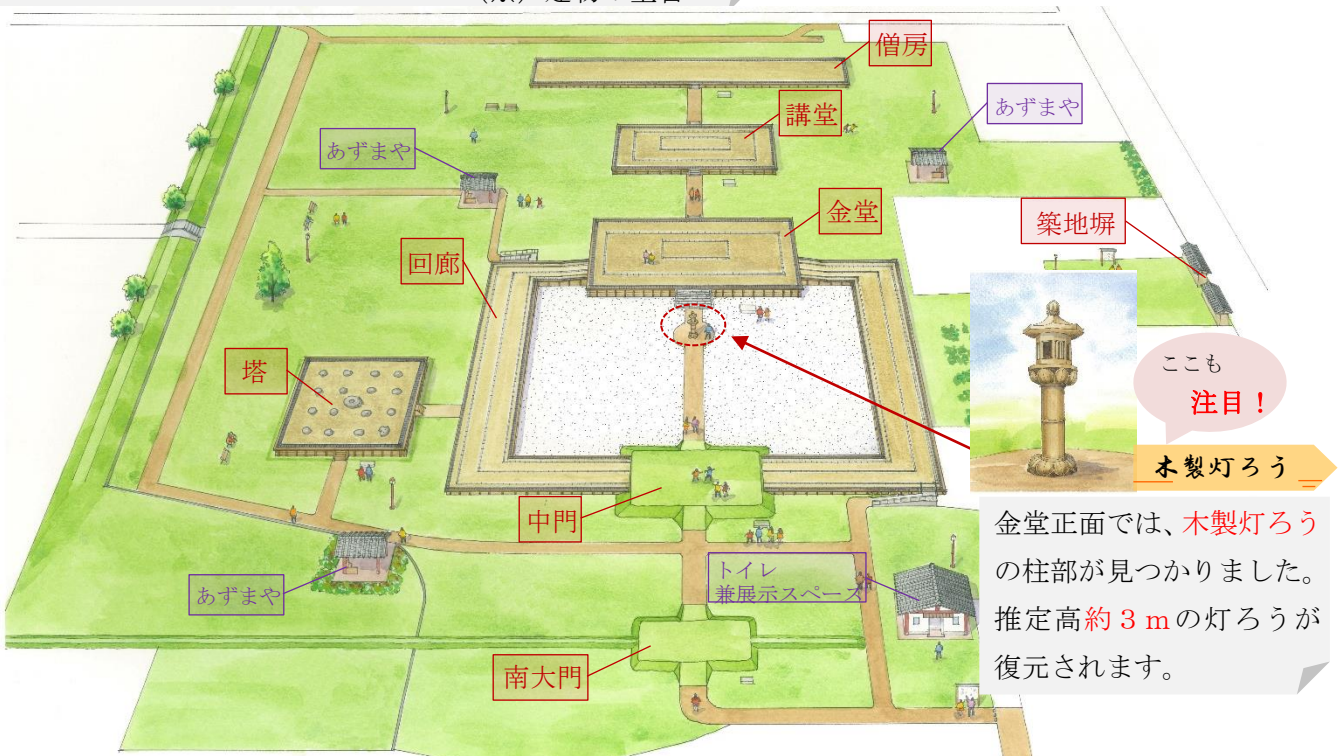
昭和26年の発掘調査により、遠江国分寺跡は全国で初めて国分寺における建物配置が明らかになりました。その学術的重要性から、翌年には国より特別史跡に指定されます。再整備では、広大な寺域に金堂や講堂、塔などが整然と並んでいた様子をイメージ出来るよう整備をおこないます。

その2 木材を豊富に使用した基壇(※)

近年の調査で、金堂や塔などの基壇が木材で覆われていたことが判明しました。奈良時代の寺院では石材や瓦が多く使用されていることに対し、木を使用する例は全国でも数件しか確認されていません。木装基壇は、その痕跡が確認された金堂や講堂、塔などで復元をおこないます。(※) 建物の土台

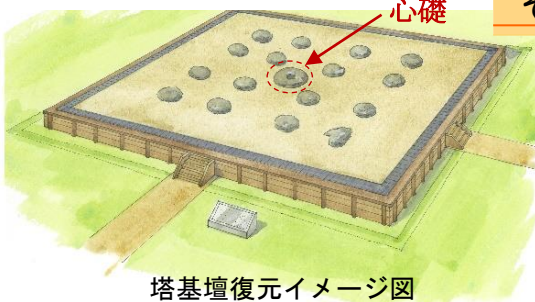


金堂基壇復元イメージ図



その3 奈良時代より伝わる塔心礎

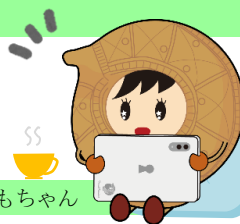
遠江国分寺の塔跡には、塔の心柱を支える心礎が現在まで残されています。これも1,300年前より伝わる大変貴重な文化財のひとつです。復元された木装基壇とともに、心礎の大きさと奈良時代の人々の思いを感じてください。



塔基壇復元イメージ図

遠江国分寺跡見学の際は、危険なため工事箇所には近づかないようお願い致します。

歴史文書館所蔵資料・文化財課刊行物を WEBでご覧いただけます



磐田市文化財課キャラクターともちゃん

文化財課では、デジタル化した歴史文書館所蔵資料や課で刊行したパンフレットを電子図書館で公開をしています。古文書や絵図などの普段見ることのできない資料も閲覧出来ます。ぜひご覧ください。

閲覧方法

電子図書館は
こちらから

- ① 磐田市立図書館ホームページから画面左側の「電子図書館」をクリック。
または、右 QR コードを読み取り、電子図書館のページにアクセス。
- ② ジャンルを選択、またはキーワードで検索。



QRコード

ジャンル名 と 内容

地域に関する資料 ⇒ 歴史文書館所蔵絵図・古文書

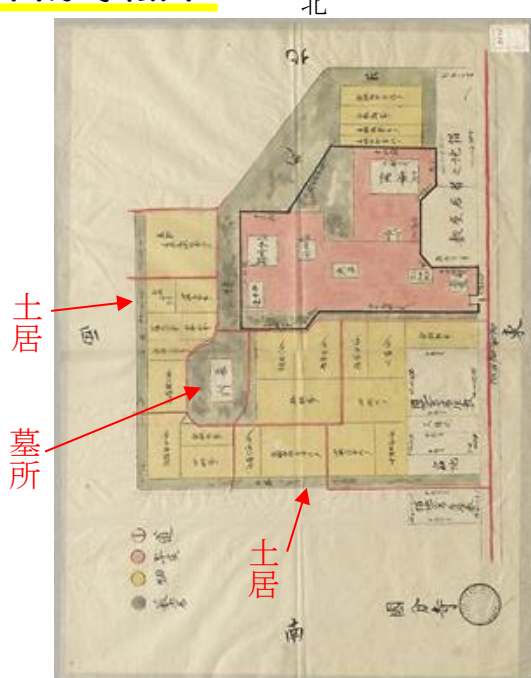
磐田の歴史・文化を知る ⇒ 地区ごとに分類された資料、絵図・古文書

市刊行物 ⇒ 文化財課刊行のパンフレット類

(注意) 市の刊行物・歴史文書館所蔵資料(古文書や絵図)以外を閲覧する際には「磐田市立図書館等利用者カード」が必要です。また古文書、絵図は印刷制限をしています。複写を希望される場合は、図書館へご依頼ください。(図書館以外で印刷をおこなうと白紙で印刷されます。)

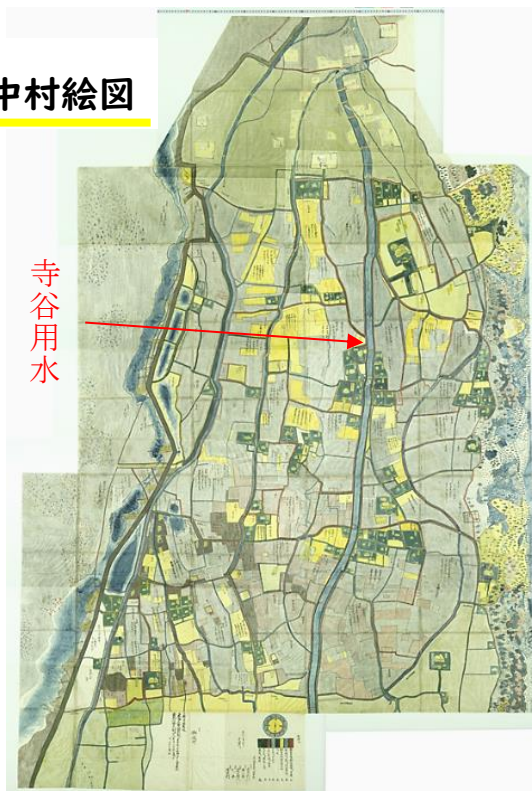
おすすめ

国分寺絵図



幕末から明治初期の遠江国分寺の土地割を描いた絵図です。現在と比べてみると、南側にも、「土居」(土手・高まり)があったことがわかります。塔跡は「墓所」と書かれています。

匂坂中村絵図



江戸時代の寺谷用水の北部(匂坂中)を描いた絵図です(1863年作)。縦2.6m、横1.7m。画面全体に匂坂中村を描き、その中心に寺谷用水を配置しています。寺院や神社、建物を細かく描いています。

文化財防火デーにともない 旧見付学校で消防訓練をおこないます

1月26日の文化財防火デーにともない、旧見付学校で消防署と合同の消防訓練を実施します。

つきましては、近隣の皆様、来館者の皆様には交通規制などご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

- 日時 令和4年1月30日(日)
9時00分～11時30分(交通規制時間)
※訓練時間10時～11時

● 場所 旧見付学校(磐田市見付2452)

● 交通規制 旧見付学校南側駐車場と周辺道路(右地図赤線道路部分)

※交通規制中の来館は見付駐車場をご利用ください

● 問合せ 旧見付学校 TEL:0538-32-4511



消防訓練の様子 (R1撮影)



職員リレー コラム

地震・雷・火事・親爺 コロナ!?

石津 由行

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

さて、コロナですがワクチン接種が進み、感染者が減少したかと思いきや新種のオミクロン株の出現により、第6波の発生が危惧されるところです。

先月、巨大地震による津波発生を想定とした地域防災訓練が実施され、私は福田中学校の避難所開設班員として参加しました。私自身、津波災害の体験はありませんが、各市町村史通史編などでこの地域における巨大地震被害や津波被害の記録を見るとゾッとします。

福田町史では東南海地震について、福田町役場『昭和19年日誌』、豊浜国民学校『校務日誌』、当時の教師と生徒の体験談及びこの生徒であった方のコラム『東南海地震の思い出』を引用し、震災の詳細が記述されています。災害跡整理として中部第129部隊(現かぶと塚公園)や谷野署管内警防団(五和村、初倉村:ともに現島田市)の応援、救援のため静岡日赤支部の医師・看護師の来町、校舎の損壊、家屋の倒壊、米軍機の飛来、大東亜戦争と震災の激動の中で小学生時代を過ごしたことなど。ただでさえ大変な時代に大地震とは……。それにしても、貴重な資料が残っていてよかったと思います。

私が勤務する歴史文書館は、歴史的価値がある資料を保存することが使命です。責務を果たし、貴重な資料を後世へ残さなければと強く思いました。

当時は戦争、現在ではコロナとの戦いです。このため、訓練内容が消火活動や炊き出しなどから避難所におけるコロナ感染防止を主眼とした受け入れ方法へと一変。自然災害の発生を食いとめることはできませんが、コロナウィルスの感染は一人一人の心がけで食いとめることができます。コロナに負けず、良い一年にしましょう。

3密を避けよう!
手洗い、うがい
しよう!
マスクを着けよう!



編集後記	この時期になると、以前コラムでとりあげた“おはたき”を思い出します。過去のだよりも是非ご覧ください!	発行: 磐田市教育委員会事務局教育部 文化財課(磐田市埋蔵文化財センター) 住所: 〒438-0086 磐田市見付3678-1 電話: 0538-32-9699 ◆WEB版は市HPから閲覧できます。[磐田文化財だより] 検索
------	--	---